

政策 2 産業振興(2)

自然が育む資源を活かした産業の振興

目 的

高品質で付加価値が高い売れる農林水産品・加工品づくりや、県産品の販路拡大を戦略的に展開するとともに、意欲のある担い手を確保・育成し、地域産業を振興します。

現 状 と 課 題

農林水産業は、島根の基幹産業として地域に密着した重要な産業であり、食料や木材の供給などを通して国民生活を支えています。
県内の大半を占める農山漁村地域では、農林水産業の従事者の減少や高齢化、国際競争や産地間競争の激化などにより、産業活動の停滞や活力の低下が続いています。

取 組 み の 方 向

島根の自然が育む製品の生産から加工・販売に至る一貫した取組みを、農林水産業と商工業の連携を強化し戦略的に推進します。
消費者や市場のニーズを的確に捉え、地域の特色を活かすことにより、品質と付加価値の向上を目指します。
安定供給に向けた生産・流通の仕組みづくりと、必要な基盤整備を推進します。
農林水産品・加工品をはじめとする県産品の県内外における販路拡大に取り組むとともに、輸出を促進します。
意欲のある安定的な担い手の確保・育成に向けて、地域の実情に即した取組みを進めます。

成果指標と目標値

成果指標	平成 19 年度		平成 23 年度
農林水産業の産出額	931 億円		950 億円
農林水産業の年間新規就業者数	144 人		155 人

農業産出額、林業産出額、漁業生産額の合計です。高品質で付加価値が高い農林水産品づくりや販路拡大により、農林水産業産出額の増加を目指します。

農業、林業、漁業の新規就業者の合計です。毎年 155 人の新たな担い手の確保を目指します。

県が実施する施策

売れる農林水産品・加工品づくり	・・・	P-116-
県産品の販路開拓・拡大の支援	・・・	P-120-
農林水産業の担い手の確保・育成	・・・	P-122-

県民の皆さまへ

島根の自然が育む農林水産資源などにより、地域を活性化し、豊かにするためには、どのような取組みが必要か、地域の皆さんが一体となって考え、実践する取組みを広げましょう。

〔取組み事例〕

【集落営農組織による経営の安定的・多角的展開】

津和野町の農事組合法人「おくがの村」は、全国に先駆けて設立された集落営農型の法人で、農作業の受委託により、高齢者も生涯現役で農業に携わっています。

斐川町の農事組合法人「あかつきファーム今在家」では、米、麦、大豆のほか特産のタマネギ、キャベツや、チューリップの球根など、大規模農場を生かした安定的で効率的な生産が行われており、いちご、ぶどうの観光農園など、経営の多角化も進められています。

【隠岐の産品のブランド化】

海士町では、企業からの農業参入により、全国に類を見ない放牧スタイルなど、地域の特色を活かした肉用牛産地づくりが進められています。また、西ノ島町では、生きたまま直送する「活イカ」の取組みが進められているほか、隠岐地域全体で、ズワイガニ、イワガキ、白バイなどを「隠岐ブランド」として高付加価値化する取組みが進められています。

【女性や高齢者が中心となった新たな産直システムづくり】

雲南地域では、産地直売を行う広域的な組織として、「奥出雲産直振興推進協議会」が農家や生産グループにより設立され、2千人を超える会員がつくった農産物や加工品を圏域内の14箇所の直売所で販売しています。

また、松江市内の大型量販店内に「モリモリ奥出雲」を開設するとともに、京阪神の大型量販店で産直市に取り組みむなど、意欲的に販路を拡大しています。